

質疑 整理番号 (3)	一部管路の負圧に関して、優先順位 5 (右岸金谷調整池及び右岸金谷ポンプ場建設等) が他の優先順位と比べてどうなのか。
回答	優先順位 1 を除いた、優先順位は以下の表のとおりとなる。優先順位は「耐震性の有無」と「現況評価からの課題数」から決定され、「現況評価からの課題数」が同数の場合は、「総合評価点」により決定する。負圧に関しては、優先順位 2 で大須賀受水点の負圧が解消され、優先順位 3 では、逆川受水点、遊家受水点の負圧が解消される等、各更新段階により、末端の管網を更新することで負圧が解消されるため、優先順位 5 の順位を早めても負圧の解消が早まらない結果となった。

実施計画 順位	系統名	幹線名	支線名 (路線名)	施設 (路線に関連する 調整池、受水点)	「耐震性の有無」		「現況評価からの課題数」			AHPによる総合評価点	「総合評価点」		修正基本計画 (参考)				
					耐震化	※施設は耐震化済み	抽出数	「水理機能評価」	「施設機能評価」		「管路機能評価」	系統別・路線別 総合評価点	抽出数	AHP 総合評価点	順位		
2 →	大須賀線系統				-	●	18,209.3	●	5	-	-	-	耐震化、課題解消	3.2 (3.24)	5	3.3	1
		大須賀線	大須賀線	・右岸第3調整池 ・大須賀受水点	●		13,129.8	●	3	・負圧 (大須賀受水点)	・貯留時間が4時間より短い	・被害率が高い (小笠東部～大東西部)	耐震化、課題解消	3.2	3	3.3	-
		大須賀線	東部線	・東部受水点	●		2,953.0	●	1			・被害率が高い (概ね全線)	耐震化、課題解消	3.4	1	3.4	-
		大須賀線	北部線	・北部受水点	●		2,126.5	●	1			・被害率が高い (一部区間)	耐震化、課題解消	3.2	1	3.2	-
		大須賀線	西部線	・西部受水点	●		0.0	●						3.2		2.9	-
		大須賀線	小笠線	・小笠受水点	●		0.0	●						3.2		3.2	-
3 →	掛川線系統 (遊家線含む)				-	●	3,879.7	●	5	-	-	-	耐震化、課題解消	3.2 (3.17)	4	3.2	2
		掛川線	掛川線	・右岸第2調整池	●		3,879.7	●	3		・貯留時間が4時間より短い	・東名高速に隣接しており、災害リスクが高い ・腐食性土壌のため漏水の実績がある	耐震化、課題解消	3.2	3	3.2	-
		掛川線	逆川線	・逆川受水点	●		0.0	●	1	・負圧 (逆川受水点)			課題解消	3.1		3.1	-
		掛川線	牛淵線	・牛淵受水点	●		0.0	●						3.1		3.1	-
4 →	御前崎線系統				-	●	650.6	●	4	-	-	-	耐震化、課題解消	3.0	4	3.0	3
		御前崎線	御前崎線	・右岸第3調整池 ・御前崎受水点	●		650.6	●	3	・負圧 (御前崎受水点)	・貯留時間が4時間より短い	・被害率が高く、崖崩れの危険性がある	耐震化、課題解消	2.9	3	2.9	-
		御前崎線	朝比奈原線	・朝比奈原受水点	●		0.0	●	1	・負圧 (朝比奈原受水点)			課題解消	3.1	1	3.1	-
		御前崎線	大兼線	・大兼受水点	●		0.0	●						3.2		3.2	-
5 ↑	右岸島田線				-	●	5,355.6	●	3	-	-	-	耐震化、課題解消	3.3 (3.26)	2	3.4	5
		右岸島田線	右岸島田線	・右岸系	●		1,930.1	●	3		・貯留時間が4時間より短い	・隧道内の布設替が困難な状況にある ・送水本管は左岸、右岸が同じルートのため断水リスクが高い	耐震化、課題解消	3.4	2	3.5	-
		右岸島田線	地藏峠線	・地藏峠受水点	●		3,425.5	●					耐震化	3.1		3.1	-
6 ↓	牧之原線系統				-	●	156.1	●	3	-	-	-	耐震化、課題解消	3.3 (3.25)	3	3.3	4
		牧之原線	牧之原線	・右岸牧之原調整池 ・牧之原受水点	●		123.6	●	3	・負圧 (右岸牧之原調整池) ・負圧 (牧之原受水点)		・維持管理上問題がある	耐震化、課題解消	3.3	3	3.3	-
		牧之原線	倉沢線	・倉沢受水点	●		32.5	●					耐震化	3.1		3.1	-
		牧之原線	平城線	・平城受水点	●		0.0	●						3.1		3.1	-
6 →	送水本管系統 (左岸島田線含む)				-	●	10,116.1	●	2	-	-	-	耐震化、課題解消	2.8	2	2.8	6
		送水本管	送水本管	・送水本管	●		2,902.4	●	2			・隧道内の布設替が困難な状況にある ・送水本管は左岸、右岸が同じルートのため断水リスクが高い	耐震化、課題解消	3.4	2	3.4	-
		送水本管	左岸島田線	・左岸系	●		5,913.3	●					耐震化	2.2		2.2	-
		送水本管	相賀線	・伊太受水点	●		867.6	●					耐震化	3.1		-	-
7 →	藤枝・焼津線系統				-	●	23,900.8	●	2	-	-	-	耐震化、課題解消	2.4	2	2.5	7
		藤枝・焼津線	藤枝線	・三輪受水点 ・※左岸第1調整池	●		10,439.9	●	2	・負圧 (三輪受水点)	・崖の上にあり、立地条件が好ましくない (左岸第1調整池)		耐震化、課題解消	2.9	2	2.9	-
		藤枝・焼津線	内瀬戸線	・内瀬戸受水点	●		184.0	●					耐震化	2.5		2.8	-
		藤枝・焼津線	時ヶ谷線	・時ヶ谷受水点	●		0.0	●						3.1		3.1	-
		藤枝・焼津線	焼津線	・※左岸第1調整池	●		9,908.5	※	※		・※崖の上にあり、立地条件が好ましくない (左岸第1調整池)		耐震化、課題解消	1.9		1.9	-
		藤枝・焼津線	上泉線	・上泉受水点	●		3,345.3	●					耐震化	2.0		2.0	-
8 →	導水管				-	●	409.2	●	0	-	-	-	耐震化	3.4	0	3.4	8
		導水管	導水管		●		409.2	●					耐震化	3.4		3.4	-

※左岸第1調整池は藤枝線でのみ抽出数を計上。

優先順位 5